



富山県カンボジア王国親善協会

事務局・富山市小中163番地

阪神化成工業株式会社内

T076-429-1865 F429-6042

発行責任者 中山 隆

事務局担当 石黒 美和

## ご挨拶

富山県カンボジア王国親善協会 会長 高田順一

3月4日富山空港を富山県カンボジア王国親善協会として第5回目の訪問団がカンボジアに向けて旅立ちました。今回の参加者は23名でしたが、福井県から6名、山口県から1名参加していただきました。

旅行の目的も観光、ライオンズクラブのアクティビティの調査、技能実習生の面接とそれぞれでした。仁川空港での乗り継ぎは何時もの通り待ち時間5時間です。前はレストランでたくさんのビール瓶を空にしましたが、今回は有料ラウンジで過ごしました。乗り継ぎの利用であれば3時間食べ飲み放題で24ドルです。質的に納得でしたが、次回もここに立ち寄るかは未定です。今年の秋からANAの成田ープノンペン直行便が就航予定です。

2年ぶりに到着したシェムリアップ国際空港はすっかりきれいになっていました。帰国するときに利用したプノンペン国際空港も来るたびに装いを新たにしており、年々インフラ整備が進んでいると感じました。

翌5日はアンコールトム、アンコールワット、タプローム寺院、シェムリアップの3大観光スポット巡りです。1日観光パスを購入するため、公園のゲートのラインに並ぶ必要があります。外人観光客で混雑していましたが、手際よく顔写真入りのパスを発行してもらえました。国家予算の25%を観光パスの発行収入が占めると聞きました。以前来たときには民間会社がこのゲートを管理していました。その時の印象は大きな利権と思いましたが、最近政府直轄になったようです。

今回のガイドによれば以前のように大型バスが観光スポットの近くまで行くことは出来なくなった。少し離れた駐車場から歩く必要がある。5年後にはもっと規制が厳しくなり、今回のように1日で3か所を巡ることは出来なくなる。1日1か所になるから、今のうちにシェムリアップに来るよう日本に帰ったら宣伝してほしいと言われました。

6日はプノンペンへの移動日ですが、今回はカンボジアのアンコール航空会社の中型ジェットを利用しました。カンボジアの航空会社に乗り込むのは初めての経験でした。



ホームステイ歓迎会H27.8.28

プノンペンの観光は2か所でした。最初はポルポト政権時の強制収容所として使用された施設です。現在は歴史博物館として当時の非情な統治を物語っています。ガイドの話に耳を傾け、どうして人間はここまで狂気になれるのか、独裁、無知、疑惑、戦争の怖さが身に染みしました。その後王宮、銀寺を訪ねましたが、あまりの暑さに疲れが倍加しました。

その夜はメコン河のほとりにあるクメールレストランで隈丸大使、蓮沼、藤本書記官はじめ来賓をお招きしての懇親会を催しました。CJCCのスタッフと一緒に3年間のホームステイプログラムに参加した8人の元学生にも参加していただき、旧交を温めました。

プノンペンでレストランを起業するため黒部から家族と一緒に移住してきた米陀さんも参加してくれました。もうすぐ開店できるとのことでした。

7日は最終日で午前中に日本大使館、CJCCを訪問しました。CJCCではホームステイプログラムはカンボジアの学生にとってとても魅力のあるプログラムであり、是非継続して欲しいと評価していただきました。午後は経済開発特区の協和製函、タイワ精機を訪問しました。

2年前の経済開発特区は用地開発が終わった段階でしたが、今回は多くの企業が進出しておりスピード感を感じました。ミネベアの巨大な増設工事を佐藤工業が請け負っていることも知ることが出来ました。

海外進出することは大変なご苦労があり、思わぬリスクに愕然とすることがあると思います。しかしそれを乗り越えていく強い意志と明確な目標があればこそ頑張れるのではないかと拝察いたします。皆様のご発展を祈念するとともに、次回訪問するときの経済開発特区の変わりようが今から楽しみです。

今回は天候にも恵まれ大きな混乱もなく無事帰国することができました。

毎回大変短い日程で参加していますが、カンボジアは急速に成長し変化していることを実感します。次回はもう少しゆっくりした時間をかけて訪問してみたいと思います。



リー・ホックチャイ

富山県ホームステイプログラムは去年もあったと知っていましたが、まだ一年生だったので、幾ら参加したくても、日本語の作文が書けませんでした。ちょっと残念でしたが、頑張って勉強したので、今は書けます。もし、富山県に行ける機会があったら、四つの事を主に学びたいと思っています。一番目は、富山県の学生の勉強のし方を学びたいです。富山県の大学はどんな大学なのか、どんな授業があるのか、教育の制度や内容を知りたいです。特に、富山県の学生との交流を楽しみにしています。

二番目は富山県にある会社や工場や農村を見学したいです。特に、農村に行ってみたいです。父が農家なので、富山県の農業に関係がある事は何でも知りたいです。そして、父や近所の人に日本の富山県の農業について教えてあげたいと思います。農村に行ったら、苦労して成功した人と話し合う機会があって、素晴らしいことを色々学べると期待しています。

三番目は富山県の有名な観光地に遊びに行きたいです。去年の富山県ホームステイプログラムに参加した人の報告によると、富山県には素晴らしい場所が多いそうです。例えば、立山や海王丸や黒部峡谷や瑞龍寺などです。外国人にとって、そのような所はいつでも見ることができるわけではありません。一回行ったら、絶対に忘れられない素敵な記念になると思います。

四番目は富山県の家庭でホームステイを体験したいです。毎日どんな生活をして、どんな習慣があるのかを知りたいです。特に、富山県独自の文化的なイベントを自分の目で見たいです。ホームステイの経験ができれば、日本の事がよく学べると思います。その間、毎日のように直接、富山県の人々と日本語が練習できて、一緒に愉しむ事ができるでしょう。

富山県に行ったら、私は富山県の事について一生懸命頑張って勉強するつもりです。それに、この機会に富山県の人々にカンボジアの文化や生活を紹介したいと思っています。そして、帰国してから、富山県で学んだ意味を考え、色々な経験を大学の友達や先生など周りの人たちに伝えようと思っています。



クム・カエマリー

富山県のホームステイプログラムを見て、富山県について調べてみたら、大変興味を持つようになって、もっと実際に富山を見たいと思っています。もし行けることになったら、以下のことを習いたいと考えています。

農業が発展しますので富山県では農作物が盛んな県として知られています。富山県の米は良質米として評価されているようです。そして富山県は海に接しているので、漁業も盛んです。これはカンボジアと比べるととても似ています。カンボジアでは国の経済を支える産業は農業です。でもカンボジアの農業はまだ発展していません。その上カンボジアの農作物は国内の利用をまだ十分に支えていなくて、外国から農作物を輸入されることもあります。それで私はどうして富山県の農業はこんなに発展するのだろうかと思いたいです。そしてどんな農業技術がありますか、カンボジアでそういうことはもうあるか私はとても調べたいです。そしてカンボジアでは漁業に関する犯罪問題はよく起きます。そういう問題は漁業が発展している富山県はよくありますか。どのように解決するのだろうか。

また富山県は日本で一番いい生活水準として知られています。それによって富山県の生活はきっと非常にいいでしょう。それで富山県の生活水準はどのように生活するか、カンボジアと比べるとどうですか。富山県へ行けたらそんな生活を実感できます。そして私は教育に関する問題も興味があります。富山県ではどんな問題が起きますか。富山県の大学生と会話するとき聞くつもりです。そのことはカンボジアの教育状態に比べるとどうですか。解決方法はどんなものかとても知りたいです。

もし富山県へ行くことができれば富山県から習ったことはカンボジアに伝えたいです。できたら富山県の良い点はカンボジアにもしたいです。私は富山県へ行けるチャンスを期待しています。



ラオ・センニアト

2年半前からCJCCで日本語の勉強を始まりました。CJCCでいろいろな文化のイベントがあります。例えば、三味線のコンサートや茶道や書道があります。だから、日本文化を多少知っています。日本の伝統的な歌や踊りに興味があるので、CJCCのダンスのボランティアになりました。二つの北海道の踊り「北人」と「よさこい」を勉強しました。私は富山県へ行くチャンスがあったら、三つのことを学びたいです。一つは私は富山県の文化が知りたいです。カンボジアで経験する日本文化と富山文化がどう違うか知りたいです。カンボジアで盆踊りを経験したことがあるので、富山県の盆踊りが知りたくておわら風の盆を見たいです。さらに、いろいろな文化をもっと知りたいです。例えば、食文化です。私はカンボジアで日本の食べ物を食べたことがあります。日本の本当の味を知りたいです。日本の食事のマナーは特別だと聞いたから、経験してみたいです。二つ目は、日本の生活も知りたいです。半年前に名古屋大学カンボジア事務所で働いています。私は日本人と働いているのに日本の企業文化をよくわかりません。富山県へ行くとき、カンボジアから来日中の研修生と会います。それで、日本の企業文化についてインタビューしたいと思います。私は管理補佐ですから、富山市役所を訪問し、富山市長と面会するとき私は富山市役所の管理業務を質問したいです。私にできることは帰国後に周りの人と良いことを共有したいと思います。三つ目は富山大学教育部の学生と会うことは良いチャンスです。実は、私は大学で教育学部を卒業しました。私は彼らとそれぞれの教育システムについて話したいです。日本とカンボジアの教育システムがどう違うか知りたいです。私は英語の先生だった自分の経験を共有したいです。それで、私たちは新しいことを勉強すると思います。富山へ行くことは私に良いたくさんの経験をもらえたいと思います。例えば、日本文化とか日本の生活とかを富山から良いことを学ぶチャンスです。それで、この良い経験を帰国後に私の将来に生かしたいと思います。

《ホームステイ生の選考について》

● 選考はCJCCに一任しております。  
● 今年度はカンボジアで日本語を勉強している学生3名を受け入れました。  
● 富山ホームステイプログラムに39名の応募がありました。  
● まず、作文による書類選考で5名に絞られました。  
● その後、面接試験により3名が合格しました。  
● 応募者数は前年の24名から15名も増えました。  
● ホームステイに関しては、主にメールにてやりとりをしながら調整しました。  
● CJCC側の窓口は昨年ホームステイで富山に招待したクン・ワテスレイレアイクさんが担当してくれました。

《ホームステイ生の紹介》

● **リー・ホックチャーイさん 男性 20歳**  
● 王立プノンペン大学 外国語学部日本語学科在籍  
● 得意科目：英語・日本語の作文  
● 趣味：日本語の本や英語の本を読むこと、サッカー

\*\*\*\*\*  
● **クム・カエマリーさん 女性 19才**  
● 日本法教育研究センター 在籍  
● 得意科目：法律  
● 趣味：本を読むこと

\*\*\*\*\*  
● **ラオ・センニアトさん 女性 22才**  
● 名古屋大学カンボジア事務所 非常管理補佐  
● 得意科目：英語  
● 趣味：アニメを見ること

《CJCCについて》

● カンボジア日本人材開発センター (CJCC) <通称日本センター>は、日本の知識や経験を活かしてカンボジアの市場経済化を促進し、市場経済化を担う実務人材あるいは地場の中小企業を主たるターゲットとした産業育成を担う人材を育成すること及びカンボジアと日本の相互理解を深めていくことを目的として2004年に設立されました。  
● センターの建物は日本政府の無償資金協力によって王立プノンペン大学 (RUPP) の構内に図書室・多目的ホール・和室・展示スペース等を備えた建物が2005年11月に完成し、「カンボジアにおける人材育成と情報発信・相互理解の拠点」として、今後ますます活発に事業が展開されていきます。

※原文のまま転記してあります。

平成27年度カンボジア王国親善協会ホームステイ日程表

平成27年8月28日(金)～9月6日(日)

日	曜日	午前	昼食	午後	ホームステイ宿泊先
8/28	金	11:00 富山空港出迎え	12:30 阪神化成	13:30 阪神工場見学 14:30 受入れ家庭説明会 18:00 歓迎会 富山第一ホテル 1F コメドール	リー・ホックチャーイ クム・カエマリー ラオ・センニアト 升谷様宅 中山様宅 北尾様宅
8/29	土	自由時間		17:00 八尾おわら前夜祭 東町	リー・ホックチャーイ クム・カエマリー ラオ・センニアト 升谷様宅 中山様宅 北尾様宅
8/30	日	9:00 立山バス観光	立山にて弁当	16:00 阪神化成工業 東側駐車場 到着・解散	リー・ホックチャーイ クム・カエマリー ラオ・センニアト 升谷様宅 中山様宅 北尾様宅
8/31	月	10:00 富山市役所訪問 森市長 11:00 北日本新聞訪問 板倉社長	北日本新聞食堂	13:00 富山ガラス工房 作品制作	リー・ホックチャーイ クム・カエマリー ラオ・センニアト 升谷様宅 中山様宅 北尾様宅
9/1	火	11:00 富山大学訪問 人間発達科、松本教授室	富山大学内 あざみの	14:00 タイワ精機訪問 餅つき	リー・ホックチャーイ クム・カエマリー ラオ・センニアト 中村政勝様宅 戸田様宅 高田様宅
9/2	水	8:45 浴衣 着替え 長江様宅 10:00 書道教室 アピタ	アピタ内レストラン	13:30 茶道・華道体験 長江様宅	リー・ホックチャーイ クム・カエマリー ラオ・センニアト 門前様宅 戸田様宅 高田様宅
9/3	木	リー・ホックチャーイ君 9:00 高岸副会長とJRで福井へ 市役所表敬訪問・福井市立郷土歴史博物館・恐竜博物館・永平寺・ 越前和紙の里にて紙すき体験等			リー・ホックチャーイ 福井・前田様宅
		クム・カエマリーさん、ラオ・センニアトさん 9:00 高岡へ 和楽庵にて浴衣を着せてもらい高岡大仏・瑞龍寺他見学、ブドウ狩り、 バーベキュー等			クム・カエマリー ラオ・センニアト 高岡・竹村様宅
9/4	金	リー・ホックチャーイ君・福井 クム・カエマリーさん、ラオ・センニアトさん・高岡		18:00 送別会 富山第一ホテル 地下1F 白楽天	チンサエム カウ スレイポウ クン ワテイスレインアイク 門前様宅 中村欣司様宅 高田様宅
9/5	土	8:30 大泉中学運動会見学 セントラム乗車	焼きそば・お好み焼	自由時間	チンサエム カウ スレイポウ クン ワテイスレインアイク 門前様宅 中村欣司様宅 高田様宅
9/6	日	10:00 富山空港見送り 受入れ家庭の皆様			



阪神化成工業会議室にてスケジュールの説明



富山第一ホテル コメドールにて歓迎会



皆さんの前でご挨拶



阪神化成工業の実習生も出席してくれました



富山県中央植物園にて中山事務局長と一緒に



八尾おわら前夜祭へ



八尾の町並み、おわらの魅力を体感してもらいました





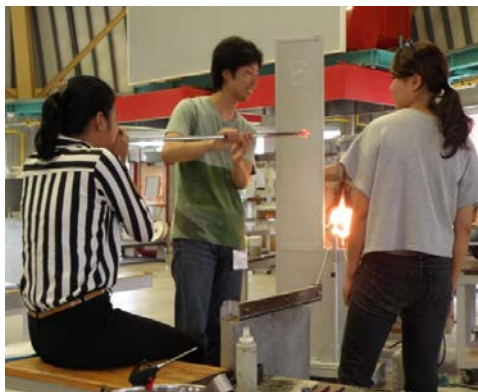
立山観光 あいにくの雨で景色は楽しむことはできませんでした・・・室内にて記念撮影



富山市 森市長表敬訪問



当協会顧問 北日本新聞 板倉社長表敬訪問



富山ガラス工房にて作品制作



富山市ガラス美術館「キラリ」にて



富山大学 人間発達科学部の学生との交流



大学の食堂にて一緒に昼食をとりました



縦タイワ精機訪問



餅つきを体験



おもちをおいしくいただきました☆



書道教室に参加させていただきました



うちわに上手に文字を書きました



茶道を体験



足がしびれたよ～



素敵な庭園で写真撮影



富山コピーさんでお迎えを待たせてもらいました



9/3-9/4 リー君は福井県へ



福井市立郷土歴史博物館



恐竜博物館を見学



紙すき体験もしました



9/3-9/4 クムさんとラオさんは高岡へ  
浴衣を選ばせてもらいました



高岡大仏を見に行きました





**瑞龍寺では真剣に説明を聞きました**



**ぶどう狩りも体験しました**



**送別会 富山第一ホテル白楽天にて**



**スクリーンで富山での活動を振り返りました**



**大泉中学校運動会 飛び入り参加！！**



**セントラムにも乗りました**



**お好み焼きも上手に焼きました**



**帰国の日 たくさんの方が見送りに来てくださいました**

## リー・ホックチャーイ

富山県でのホームステイは十日間に渡るものでした。少し短かったです。私は色々な素晴らしいことを体験できました。一番目は富山県の市長と福井県の市長に会う機会があったことです。そのような偉い方に会えることができ、よかったです。二番目は富山県にある有名な会社を見学した事です。例えば北日本新聞やタイワ精機や阪神化成工業などです。北日本新聞の社長とお話した時に、新聞を読むことは生活の中で大事なことと言う意味が分かりました。そして、タイワ精機で餅つきを体験しました。更に、阪神化成工業では容器の工場を見学して、人はあまりいなくて機械だけで工場を動かしている事に驚きました。三番目は富山県にある著名な観光地へ遊びに行った事です。例えば、涼しい風が吹いている富山県中央植物園や富山県の中で一番高い山である立山やきれいなガラスの記念品を作ることができる富山県ガラス工房などです。しかし、立山へ行くことはできましたが、天気が悪くて何も見えませんでした。ですから、絶対にまた富山県に来て、立山のきれいな景色を見たいと思います。四番目は富山県の料理やお水や米などを味わえました。味は最高です。五番目は富山大学の食堂や図書館を見学した事です。そして、富山大学の学生と楽しく交流しました。富山大学の学生たちの生活とカンボジアの学生たちの生活について言い合ったり、将来はどんな仕事をしたいか、どうしてその仕事をしたいのかについてもお話をしました。すごく楽しかったです。六番目は富山県に来て、新幹線に乗れるチャンスをもたらした事です。ですから、新幹線で富山県から福井県まで行く事ができて、私は非常に嬉しかったです。しかし、もっと嬉しい事は、福井県にある色々な有名な場所に行けました。例えば、永平寺や恐竜博物館やパピルス館などです。永平寺はでかくて、景色もすごくきれいでした。そして日本の中で福井しかない恐竜博物館で色々な素晴らしい恐竜の骨がゆっくり見られました。七番目は一日の中の小さな事ですが、一番忘れられない素敵な事です。それはホストファミリーの家に泊まる事や一緒に食事をする事や一緒にテレビを見ながら色々なお話をし、幸せだと感じました。ホストファミリーと毎日色々な所へ私達を迎えて行ってくれる方々に本当に感謝しています。そして皆様が私の家族のように色々なお世話をしてくれました。ですから、私は皆様の事をずっと覚えていきます。皆様も私の事を忘れないください。いつかまたお会いしましょう。日本に来る夢が叶いました。今は新しい夢を持っています。それは日本に留学して、また皆様にお会いする事です。富山県に十日間いた間、忘れられない素敵な記念がたくさん残りました。ですが、私は楽しく帰国できると思います。

※原文のまま転記してあります。

## クム・カエマリー

私は富山県へ来る前に日本へ来たことはありません。つまり富山県は私の日本での初めてなんです。富山県に着いたら私にとって何でも新しいと思います。富山は田んぼが多くてゴミもなくとてもきれいな町だと思います。カンボジアで日本語の授業をする時、日本についてたくさん勉強しました。でも実際に生活できません。今は富山で日本の生活を実感できました。日本全国で富山のように生活するかどうか私は分からないのですが、分かるのは富山での生活は最高なんです。富山市民はみんな交通ルールを厳しく守ってとても良いと思います。そんな習慣はカンボジアにも伝えたいと思っています。そして富山で毎日日本料理を食べて全部美味しいですが、私の大好きな料理はカレーライスとてんぷらなんです。今回富山で10日しか泊りませんでしたが、たくさん良い思い出ができました。富山でたくさん知識を取り入れて良い経験になります。私が阪神化成工業とタイワ精機へ見学して日本の技術はとても進んでいると分かるようになります。その上北日本新聞も行きました。私は社長から新聞の良いところを詳しく説明していただき新聞の大切さがよく分かりました。今から新聞をもっと読むことにします。またもし日本の文化を言うと、私が言えないくらい面白いです。富山県の伝統的なお祭りに参加して(おわら風の盆)、書道、茶道、華道も習っているいろいろな良い経験になりました。その上、ガラス工房とガラス美術館も行きました。そこには信じられないくらいたくさん素晴らしい作品が見えました。又私も富山大学へ行きました。そこで環境がとても良いと思います。そして私たちが富山大学生と交流してみんなとても明るい人なんです。富山県でたくさん観光地があります。富山での有名な観光地として立山へ行きましたがその日は天気が悪かったのでとても残念でした。ぜひもう一度立山へ行きたいと思っています。その上富山県の高岡市へ行きました。そこで日本の三大大仏、高岡大仏へ連れて行ってくれました。それに神社も行きました。これは私にとって新しいことで、いろいろな勉強になってとても面白かったです。日本の富山県でいろいろな良い経験があって、そういう経験はカンボジアに伝えるつもりです。日本とカンボジアの友好関係を密接にするために私たちが始まると思います。

## ラオ・センニアト

カンボジアでたくさんの人が日本に行きたいのに私はこのチャンスをもらって日本の富山県に初めて来ました。本当にうれしかったです。飛行機で「富山県に着きました」と聞いて窓から初めて見て「こんなたくさん山があるしみどりがある県」という感じです。心から素晴らしい県だと思います。何でもきれいでゴミがないし静かで私の夢みたいな所です。皆さんも優しいです。私はいろいろなことがきょうみがあります。日本の家とか運転とか食事などです。つまり、日本文化と生活です。家は外で小さいと思うのに広いです。好きになりました。もう一つは、日本人が運転するのは早いですが、でも十日間全然事故が見なかったです。日本人がちゃんと交通法を守るのにはすばらしいと思います。さらに料理もおいしいです。大切なことをまなぶには富山県が安全な県です。地震もないし立山のおかげで台風もないし事故も少ないなどです。初めて日本医の経験は忘れられない経験です。下は私の経験と感想です。●8月28日 富山に着きました。きれいな県です。あちこちみどりが見えます。山もたくさんあります。富山が好きになりました。ホストファミリーは親切です。歓迎会をしてもらって感激です。●8月29日 お母さんお姉さんはまわりを見せてくれて嬉しかったです。夜、おわら風の盆を見に行きました。それはいちばん見たいことです。日本に行く前からずっと一度おわら風の盆を見たいかったです。やっと見ました。すごくうれしかったです。●8月30日 立山に行きました。でも、天気が悪くて何も見えなかったです。残念です。少し雪を見ました。よかったです。たくさん買い物をしました。山の上、電気もあるスノーバーもある素晴らしいです。夜、三人の家族と一緒に食事をしました。楽しかったです。●8月31日 市長と会いました。北日本新聞の社長も会いました。そんな光榮をもらって本当にありがとうございます。ガラス工房に行つて自分のグラスを作つてうれしかったです。そんな経験はカンボジアではありません。●9月1日 富山大学に行つてMaster Courseの学生と会つてよかったです。学生の皆さんは優しいです。富山大学を紹介してくれました。富山大学は大きくてきれいでたくさん建物があつて心地良い所です。タイワ精機に行つていろいろなことを紹介してくれてうれしかったです。もちを作つて食べておいしかったです。●9月2日 日本文化の書道と茶道と生け花をしました。難しいですがおもしろいです。私は書道がとても下手です。でも帰つて毎日いっしょうけんめい練習するつもりです。もう一つは私がお茶が好きになりました。おいしいです。●9月3日と4日 高岡に行きました。あそこですごくうれしかったです。高岡アラートライオンズクラブの皆さんはとても優しいです。いろいろな所を紹介してくれました。うれしかったです。温かい歓迎をしてくれて本当にありがとうございます。高岡に行つた後で高岡が興味があります。たくさん歴史があります。高岡をもっと知りたいです。夜、送別会でした。皆さんとお母さんたちとお父さんたちときょうならつと言時間です。●9月5日 大泉中学運動会を見学しました。私たちも参加しました。うれしかったです。日本の学生はとてもいいと思います。●9月6日 カンボジアに帰ります。皆さんありがとうございます。私はたくさんのお話を学びました。富山県カンボジア王国親善協会と高岡アラートライオンズクラブとホストファミリーのおかげで今回のホームステイは忘れられないホームステイです。本当にありがとうございます。



ローン・パリー

はじめまして、わたしのなまえはローンパリーです。ことしは23さいです。カンボジアからきました。日本にきてからほんとうにうれしかったです。りゆうはくうこうからうちまでみちのまわりがきれいだし、みちはごみもなくてきれいです。でも日本についたとき私ははじめてかぞくとわかれるのでちょっとさびしい気持ちがあります。けど、寮でせんぱいたち、カンボジア人と中国人はいつも私がわからないことはおしえたりてつだったりおはなししたりします。しごととははじめてでじぶんのけんさしたせいひんをしんぱいします。日本人とはたらくときやさしくてしんせつなひとです。さんねんかんのあいだに日本語としごとでもできるようになるようにもっとかんばっていきます。これからどうぞよろしくおねがいします。



ナク・パツラ

こんにちは、私の名前はナクパツラともうします。カンボジアからきました。日本にこられてとてもうれしかったです。日本人はやさしくてしんせつです。日本人のしゅかんもいいです。私はきものふくがだいすきです。はじめてゆきをみましたから、ともだちとあそんでたのしかったです。私はさくらをみたことがないのでさくらをさくとき、ほんとうにみたいです。日本にきてしごとができるだけではなく日本語をべんきょうすることができます。だから、3ねんかんいっしょうけんめいがんばってしごとをします。カンボジアへかえってから日本でいいけいけんをもらおうと自分の国をやります。これからどうぞよろしくおねがいします。



トーン・マリー

はじめまして、私のなまえはトーンマリーともうします。ことしは25さいです。カンボジアからきました。とやまけんはきれいなところです。かいしゃのひとはしんせつです。私のくにはさくらがないのでだからさくらをみたいです。はんしんかせいでしごとをするとなのしいです。にほんごは私すこしわかります。そしてまいにち私がんばってにほんごをべんきょうします。これからおせわになります。どうぞよろしくおねがいします。



キム・ダリス

はじめまして、私はダリスともうします。25さいです。カンボジアからきました。日本にきてからうれしかったです。日本はきれいなくにでいいけいざいです。とくに日本でさくらはなはいちばんきれいであるばかりではなくかおりもします。日本人はだいたいしんせつなひとがおおいです。それでわたしはにほんがすきです。さんねんかんのあいだにもっと日本ごをべんきょうしてしごとがんばっています。これからどうぞよろしくおねがいします。

※原文のまま転記してあります。

2015年9月3日,4日の2日間カンボジア留学生  
が福井にホームステイ

### 富山県カンボジア王国親善協会 福井支部の留学生受入事業

9月3日(木)福井に、富山県カンボジア王国親善協会の招きで訪れている、カンボジア留学生が来福。334-D地区名誉顧問 高岸和男ライオンと共に、福井イーストライオンズクラブの9月度例会に参加して頂きました。

例会の中ではクラブ員との交流もはかることができ、とても有意義なひとときになりました。留学生は9月3日(木)、4日(金)の2日間、福井にホームステイされ、福井の観光地を訪れたり、福井の食を味わったり、越前和紙の紙漉き体験をしました。

○1日目 福井市役所へ東村市長を表敬訪問  
例会後、福井イーストL.C.がホストを務める富山県カンボジア王国親善協会 福井支部の留学生受入事業の一環で、留学生とともに福井市役所へ出向き、東村市長に表敬訪問させていただきました。

東村市長からは「この福井で多くのものを感じて、思い出を作ってほしい」とご挨拶ほか、お言葉を賜りました。

その後、名勝・養浩館、そして郷土歴史博物館を訪れ、福井の歴史などについてカンボジア留学生とともに学びました。

### ○福井の美味しい料理を囲んで懇親会

夜は福井市内の居酒屋で、クラブ員とともに食事をしました。新鮮な刺身や油揚げをはじめ福井ならではの食を楽しみながら、カンボジアのことや将来の夢についてなど、いろいろな話に花が咲き、大変盛り上がりました。

この日の夜は前田会長宅にホームステイしました。

### ○2日目は福井県内を観光

ホームステイ2日目は、福井のさまざまな観光地を巡りました。まずは、勝山の福井県恐竜博物館を訪ね、恐竜の複製や化石、恐竜の歴史などを見て回りました。その恐竜の大きさに、留学生はびっくり！そして大昔にこんな生き物がいたことに感動していました。

食事のあとは、曹洞宗大本山 永平寺を尋ねました。今から約770年前に道元禪師によって開かれた永平寺の山門、仏殿、法堂をはじめ、境内の建物を見学。木造りのその厳格な雰囲気留学生はもとより、同行したクラブ員も圧倒されていました。

お昼からは、福井市の一乗谷朝倉氏遺跡を訪れ、唐門の前記念撮影。戦国大名・朝倉孝景から5代103年にわたり越前を支配した朝倉氏。義景が住んだ館跡や館跡庭園などで当時の繁栄を偲びました。

その後、少し足をのばし今立町へ。和紙の里で和紙づくりを体験して頂きました。手ほどきをいただきながら、和紙の制作工程を回り、留学生とクラブ員共々、自分でデザインした和紙をお持ち帰り。今回はハガキサイズの和紙づくりにチャレンジしましたが、今作ってすぐに出来るなんて！？と、驚いた様子でした。



### ○富山での送別会

夕方より、富山県カンボジア王国親善協会のカンボジア留学生、送別会に参加するため、一同富山へ向かいました。送別会では、他の留学生共々、富山と福井での体験を発表し、感慨を深めていました。留学生は富山と福井で出会った皆様に感謝の気持ちを込め、ここで過ごした日々を振り返りご挨拶。この経験を生かしたいと語っていました。

### ○2日間を振り返って

今回の事業は、福井イーストL.C.がホストを務める富山県カンボジア王国親善協会 福井支部の留学生受入での事業でしたが、クラブにとっても留学生のホームステイは初めての経験でしたので、当初不安もありました。ただ、実際におこなって・・・留学生と交流を深めることができ、日本そして福井の良さを少しはアピールできたのではと、思っております。また、私たちもカンボジアという国に興味を持ち、知るにはよい機会だったと考えています。これからも各国の人たちと交流ができると、いろんな意味で親善にもつながり、大きな社会貢献につながると思うので、積極的に取り組んでいきたいです。

### 2017年3月6日、カンボジアでの再会

○富山県カンボジア王国親善協会の方々とはカンボジアへ

今年の3月に富山県カンボジア王国親善協会の方々とはカンボジアへ行った際に、留学生と再会。夕食を共にし、またいろんな話をしました。福井にホームステイしたときに、「夢は大使になること」と語っていた彼は、昨年より・・・少しくましさを感しました。ぜひ、夢に向かってこれからも頑張ってくださいと思います。



平成26年と平成27年に、ホストファミリーとしてホームステイ生を受け入れさせていただきました。二人の男子学生が共に大変上手な日本語を話していたのが、非常に驚きでした。まだ20代の彼らは、きっと多くの時間を費やし大変な努力をしたのだと思います。話を聞いてみると、「日本語を覚える為に1日に何時間も勉強している。」と教えてくれました。又、日本の事を大変よく勉強していて、文化や行事についても詳しく知っていました。彼らはきっと日本について大変興味を持っているのだろうと感じました。もしかしたら、日本で生まれ育った私たちよりも海外で育った彼らの方が日本や富山の良さがちゃんと見えているのかも・・・。自分達はこの豊かな自然や住みよい暮らしに慣れてしまい、日々の生活の中で忘れていた郷土愛のようなものを、彼らが思い出させてくれたように思います。

また、日本文化を伝えるために多くの企業・施設・観光地を彼らと共に訪問させていただきました。どこへ行っても彼らには、新しい発見や驚きの連続だったようで、家に帰ってきてからも色々な質問をされました。日本の食文化にも興味があるようで、カンボジアではあまり食べることのない刺身や寿司などにもチャレンジして食べていました。

限られた日数ではありましたが、彼らにとっても有意義なホームステイとなったのではないかと思います。同様にホストファミリーの私にとっても、カンボジアの学生達と深く交流できる良い機会となりました。このような機会を与えて頂き大変感謝しております。

今後も富山県とカンボジアの交流や友情が長く続く事を願っております。



カンボジア訪問団に参加して

阪神化成工業(株)  
門前 昌志

第5回カンボジア訪問団に参加させて頂きました。カンボジアへの訪問は、2011年2月のカンボジア日本語学校の視察と技能実習生の面接を初め、所属ライオンズクラブのアクティビティ「カンボジアの子供達へランドセルを贈る事業」の贈呈式での訪問も含めて、今回で6度目の訪問になりました。

おかげさまで、会社の技能実習生の受け入れも順調に進めさせていただき、現在18名の実習生が各工場(富山、岡山、茨城)で元気で働いています。卒業生も8名いますが、その中の2人は、現地指導員(通訳)として何度も訪日し、実習生指導に活躍しています。本当に感謝しています。さて、本協会と、CJCC(カンボジア日本人材開発センター)とで計画されたホームステイ事業で、2014年にサエム君(Chin Saem/写真右)、2015年にチャイ君(Ly Hokcchay/写真左)と二年続けて、我が家でショートステイのお世話をさせて頂きました。

二人とも本当に真面目で、家族思いで、家事なども積極的に手伝っていただきました。帰国後も「おじいちゃん、おばあちゃん、おかあさんは元気ですか?」「おねえさん、知宏君(二男)に会いたいです!」と、ラインやeメールで子供達と情報交換していますので、いまでも、我が子の様にお付き合いしています。

今回の訪問は、協会の計らいで、ホームステイの皆さんとの交流会が開催されました。写真はその時に撮影しました。おかげさまで二人に会う事が出来ましたが、一段と大人になり、目標をもって日本語の勉強を続けている姿には、本当に感心致します。これからも、カンボジアと日本の親善大使として活躍してほしいと願っています。そして息子達に再会させて頂いた、協会関係者の皆さんに感謝申し上げます。



カンボジア訪問団に参加して

菱越電機(株)  
鷺塚 尚志

平成28年3月4日から3月8日まで5回目のカンボジア王国の視察に参加した。

普段我々の頭にはカンボジアと言えば観光のアンコールワットが思い浮かぶ。

位置的にも概略は理解していたが今回歴史も知ることになりいろんなことが勉強になった。

カンボジアは貧しいイメージがあったが、とっても明るく元気な国に感じられた。

日本は平均年齢が40歳半ばであるがカンボジアは23歳と若さにあふれる国でした。

シェリムアップは観光地ですが、田舎と言う感じでアンコールワットが45mで一番高い建造物との事でしたが年間450万人の観光客がおとずれるとの事で観光収入を思わず計算してしまいました。首都プノンベンビルも有り都市部と言う雰囲気を感じました。

しかしながら所々に内戦の傷跡が感じられ今でも数百万個の地雷が埋まっているとの事でまだまだ忘れられない現状です。さらに交通に関しては渋滞もさることながら交通事故が多いとの事で日本では考えられませんが今年ようやくバイクのヘルメット着用と飲酒運転の禁止が施行されたということで驚きでした。



今回は遺跡を見学させて頂いた後、日本大使館表敬訪問、カンボジア日本人材開発センター(CJCC)見学、さらに現地日本法人の協和製函(株)殿、(株)タイワ精機殿の工場視察をさせて頂き、カンボジアの現況と労働に関するお話を拝聴出来たことは大きな収穫であった。

晩餐会に於いては駐カンボジア王国の隈丸大使やCJCCの職員、日本で研修したカンボジアの元生徒さんを招いて終始笑顔の中、楽しいひと時を過ごしました。

活気あふれる都市部、観光地、まだまだ未開発のインフラ及び教育ではあるがカンボジアは自力で立ち上がろうとする勢いを感じることが出来、今後どのように発展するのか楽しみなのと、微力ながら少しでも力になりたいと思わせる視察会でした。



在カンボジア大使館 隈丸優次大使



協和製函(株) カンボジア工場様 視察



ホームステイの学生たちとの再会



タイワ精機 カンボジア工場様 視察

# 平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

- H27. 4. 6 阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。  
第8回定時総会について協議。
5. 24 ANAクラウンプラザホテル富山に於いて、第8回定時総会開催。  
総会終了後、富山テレビ放送 報道部ディレクター 青島真広様に  
「取材を通して感じたカンボジア」との演題でスピーチをいただく。  
引き続き、懇親パーティを開催し、会員同士の懇親を深める。
7. 22 阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。  
ホームステイ受け入れ事業について協議。
8. 28 恒例により、「当協会のホームステイ受け入れ事業」にカンボジア  
日本人材開発センターから派遣された3名の学生さん達が富山に滞在する。  
9. 6 会員の各家庭に宿泊し、交流を深める。
10. 7 阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。  
カンボジア訪問について協議。
11. 8 富山駅自由通路、CICビルで行われた国際交流フェスティバルに参加し、  
カンボジアのPRをする。
11. 9 恒例により、在日本カンボジア王国大使館へカンボジア独立記念日の  
広告協賛をする。
- H28. 3. 3 阪神化成工業会議室に於いて、理事会を開催。  
第9回総会でのカンボジア大使招請について協議。
3. 4 3泊5日の日程で会員23名がカンボジア王国を訪問する。  
5 在カンボジア日本大使館、カンボジア日本人材開発センターを訪問する。  
3. 8 最後の夜の夕食会では、隈丸大使及び大使館職員の方々の出席も  
いただきました。  
また、ホームステイ生達の出席もあり、思い出話に花を咲かせ、  
楽しく過ごすことができました。
3. 21 高田会長、事務局カンボジア王国大使館を訪問。  
チア大使に当協会晩餐会へのご出席を申し上げる。  
当協会晩餐会へのご出席についてご快諾いただく。

## 【編集後記】

今回の会報はホームステイ事業のホストファミリーとカンボジア訪問団の参加者にご寄稿いただき、カンボジアの学生の様子や現在のカンボジアについて皆さまに伝わるものになったと思います。ご協力いただきました方々に深く感謝申し上げます。

今後もわかりやすく情報を発信していければと思います。今年度もよろしくお願いいたします。